

## 気候情報等のビッグデータと水道料金の増減を分析できるツールを導入し、状況変化に応じた収入の見通しを立てたい！

### 課題



- 水道事業の根幹は料金収入であり、今後の経営を見通していくためには、将来の料金収入を適切に推計する必要がある。
- 料金収入は様々な要素により変動するため、その要因を分析してほしい。
- 今回に限らず、収入見込を職員でも簡単に算出できるフォーマットを構築したい。

### 背景

- 東京都水道局では、安定的な水道事業運営のため、3～5年度ごとに中期経営計画である東京水道経営プランを策定している。
- 現行プランでは、過去の実績から料金収入見込を算出したが、コロナの長期化とその回復が予想と比べ遅れたことなどから、乖離が発生している。
- 令和8年度からの次期プラン策定を見据えて、気候や人流に加え、コロナ禍を経た生活様式の変化など、これまで以上にあらゆる因子を可能性として捉え、より高い関連性を持つ要因を分析することが求められる。

### 現場からのコメント



- 分析に当たり、当局が取得している収入等の独自データを提供します。
- 構築したフォーマットは全国の自治体でも汎用できるものになるかもしれません！

### 現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

水道局財政所管部署  
(総務部主計課)

水道事業を将来にわたって安定的に運営し続けるため、長期的な視点で目標管理、施策のブラッシュアップを図っている。